

# STUDENT EXCHANGE NEWS



近江兄弟社中学・高等学校 国際交流委員会・留学生センターニュース

ISSUED BY THE INTERNATIONAL EXCHANGE COMMITTEE, OMI BROTHERHOOD SR. & JR. HIGH SCHOOLS

## マレーシア受け入れ特集 短期ホームステイを受け入れて

(ホストファミリーの感想)

今年も11月25日(金)から28日(月)の3泊4日の日程で、マレーシアの姉妹校 Wesley Methodist School(ウェズレーメソヂストスクール)から40名の高校生たちを受け入れました。週末の滞在で、ホームステイが中心のプログラムです。ホストファミリーのみなさんには本当にお世話になりました。マレーシアの高校生たちにとってはすばらしい経験だったことと思います。ホストファミリーのみなさんから寄せられた感想のいくつかを紹介します。(順不同)

### 家族とも協力し合えた

P2-3 大原 礼子

受入留学生: Nicole Wong See Yen, Lynn



今回、初めて受け入れをして、本当にホストファミリーを引き受けて良かったです。最初は不安や緊張もありましたが、マレーシアでホストファミリーに本当に良くしてもらったので、私も日本を楽しんでほしいと思って色々計画を立てていました。

心配していた言葉の違いも、家族で協力して英語を考えたり、辞書を使ったりと楽しく話げできました。また、リンの日本語の上手さには本当に驚きました。マレーシアの文化や勉強のことや両親を敬う心など、たくさんを教えてくださいました。特に、ご飯を食べるときには、父や母に先に食べてもらおうと聞いたとき、私は見なうことがたくさんあるなど、実感しました。

休みの日は、買い物やカラオケに行きました。とても喜んでくれて、私もうれしくて、たいへん楽しかったです。

次の日の京都観光では、日本人だけではなかなか行けないようなお寺を見に行ったり、お土産屋さんを巡ったりして、マレーシアの人たちともいっぱい話をして、仲良くなれて、充実した一日となりました。リンやニコルに「ありがとう!」と言ってもらえる度に心が温かくなりました。

夜は遅くまで三人でいろんな話をしたり、一緒に寝たりして、本当に大好きな友だちができました。今回、たくさん話ができましたが、もっと英語を勉強したら、さらに話せることができます。もっと英会話の勉強に力を入れようと思います。ホストファミリーをして、家族とも協力し合えたし、マレーシアの文化にふれることもでき、私にとって本当に良い経験になりました。これからも連絡を取り、私もまたマレーシアに行きたいです。

### 彼女の好きな「けいおん」

J21 石田 充

受け入れ留学生: Joane Lee Hui Wen

ジョエンヌを受け入れて思ったのは、言葉は違っても、伝えようという思いを持っていれば伝わるということでした。それに、ジョエンヌは、真剣に日本語を学ぼうとしてくれました。関西弁などのこともきいてくれて、なんだかうれしくなりました。そんなふうに接してくれる彼女の為にも4日間をとってもいいものにしたかったと思います。

それで、まず行ったのは、彼女が大好きなアニメ「けいおん」の聖地である豊郷小学校です。彼女はアニメに出てくる場所を、私たちに伝え

てくれて、そこへ連れて行ってあげると、写真をたくさん撮っていました。2日目は、博物館へ行き、琵琶湖についてじっくり見ていました。



水槽の前で、魚を見つけて数えたり、水槽の前で写真を撮ったりしました。その後、坂本へ行き、彼女の好きな「けいおん」の電車に乗りました。さらにたくさんの写真を撮ることができ、とてもうれしそうでした。それから、石山寺へ行き、紅葉を見ました。とてもあざやかな色で、日本らしさを見せてあげることができたかな、と思いました。

そして、最後の夜を過ごし、朝、学校へ行きました。別れるときはさみしくてたまりませんでした。家に帰ってからも、イスが一つ減ってしまったことで、ジョエンヌがもういないことが実感され、もっともっとさみしくなりました。

たくさんの思い出ができて、ジョエンヌと家族のように過ごせたこの4日間を絶対に忘れません。またどこかで会えたらいいなと思います。ホストファミリーをして本当に良かったと思います。

---

## 学んだことは、「行動力」

11-1 西村佳那香  
受け入れ留学生：Guan Tze Ying

---

私は今回初めて留学生を受け入れて、色々なことを感じ、学びました。この4日間は、とても楽しかったし、自分の為になりました。

ズィーンが来たその日、すごく楽しみにしていた反面、少し不安でした。何をどう話せばいいのか、自分の伝えたいことは伝わるのか、そんなことばかり考えていました。ですから、最初は本当に会話も途切れていたし、伝えられないと思いつつ途中であきらめてしまうこともありました。だけど、ズィーンは、いつでも私の話を一生けんめいに聞こうとしてくれました。私が途中であきらめようとする、「ダイジョウブ」といつも励ましてくれました。本当にやさしかったです。

ズィーンは、本当に日本が大好きで、色々なことに興味を持っていました。制服や着物を着せてあげると、とても喜んでいたり、日本食も「メッチャおいしい!!」とたくさん食べていました。日本語を教えてあげると、すぐに覚えて使っていました。日本人として、海外の人がこうして日本を好きでいてくれるのはとてもうれしかったです。



この4日間で学んだことは、「行動力」です。言い方は悪いけれど、どうにでもなると思いました。正確な英語の文章で会話をしなければ伝わらないと思っていましたが、「伝えたい」という気持ちさえあれば、文法が間違っている、相手は聞いてくれます。本当にそれを感じました。何に対しても、行動に移すことが大切だと実感しました。ですから、この学んだことや感じたことを生かして、これから頑張っていきたいです。

そして、今回、Wesley Methodist Schoolのみなさんから、震災への義援金をいただきました。日本人としてこのことを忘れずに、今自分のできることを精一杯やっていきたいです。

---

## 世界人類をつなぐ平和の使者

G3-10 井上雄一郎  
受入留学生：Ricky Lim, Kelvin Yap

---

留学生を受け入れるのは2回目です。最初は戸惑いつつ頭をフル回転させて、必死に話そうと頑張りました。今年は2人の受け入れにチャレンジしました。2人ともとてもフレンドリーで、すぐに仲良くなれました。去年、マレーシ

アへ研修旅行に行ったときに、ホストファミリーになってくれた人や、僕が留学生として受け入れた人のことを知っていて、かつ、友だちであると聞いたときはびっくりしました。マレーシアの学校では、先輩＝後輩がとてもフレンドリーなんだと、あらためて実感しました。

今年は2人を受け入れるということで、僕の友だちが「どら焼き」を作ってくれて、友だち間での絆みたいなのが感じられてよかったで



す。次の日から、奈良の祖父母の家へ行き、日本の料理と折り紙などの日本文化に触れてもらえる一日にしました。お好み焼きやおはぎなど、日本独特の食べ物がたくさん出てきて、2人ともとてもびっくりしていました。折り紙は簡単なものから難しいものまで折りました。

ホームステイ最終日は、図書館に案内しました。図書館で英語に訳したマンガや日本の建物についての本を興味深そうに見ていました。その後、イオンモールに行きました。チョコのケーキを作るということで、材料を探しました。家に帰って2人はすぐに作業を始めて、頑張って作りました。できあがり、食べてみるととてもおいしかったです。

お別れの時は、去年と同じく、泣きそうなくらい悲しくなりました。今年こそは笑顔で送りだそうということで、笑顔で送り出しました。二年生たちは、かなり泣いていて、「自分もあんな泣いていたんだな」と思いました。二回ホストファミリーをして、思ったことは、コミュニケーションは大事であり、友情を深めることは、簡単なようで難しいものだと思います。一柳満喜子先生がおっしゃった、「外国に侵入して貪る人は世界の平和を破る。しかし、外国に行って友を作り、その土地をうるおすことのできる人、これは世界人類をつなぐ平和の使者なのである」ということが、このことであるとはっきりと分かりました。本当にありがとうございました。

---

---

## 人としての大切なこと

保護者：井上奈津子

---

---

昨年引き続き、2回目のホストファミリーでした。今年は2人あずかりしました。2人いると、ちょっとした「間」ができたときも互いで会話をしてくれるので、こちらに変に気を遣いすぎず安心でした。

昨年の生徒さんと同様、大変礼儀正しく素直で、起床時間などもきちんと守り、布団もきれいに整え、自らお手伝いをしてくれ、とてもいい子たちでした。

私の実家の奈良へ連れていきましたが、両親もとてもいい子たちだと感心していました。外国人と接する機会のない両親にとっても貴重で大変楽しい時間を過ごせたそうです。ホームステイ最後の夜には、2人でブラウニー（チョコレートケーキ）を作ってくれました。

昨年と同様に、ふだん忘れていた素直な心や、感動する心を思い出させてもらうことができました。やはり今年もお引き受けできて良かったと思えました。

子ども自身も兄弟社高校に通わせていただき、このような経験ができ、本当に良かったと言っております。下の弟は、中学3年生の受験生で、兄弟社高校を希望しています。私としてもぜひ弟にも、他の学校では経験できない、このような経験をしてほしいと熱望しています。ホストファミリーは、勉強では得られない、人としての大切なことを思い出すことのできる素晴らしい経験です。

\*\*\*\*\*

## ただ今留学中

---

---

### 時間の流れがゆっくり

I 1-1 小松 葉月

姉妹校交換留学プログラム

留学先：Grand Rapids Christian High School

留学期間：2011.8.26 ~ 2012.3.20

---

---

こんにちは。GRはもう完全に冬です。この間、雪が降りました。11月に初雪です。私の記憶が正しければ小学生以来の出来事です。

積もったらしいのになと思ったのに、ちょっとしか降りませんでした。でも、これからうんざりするほど降るそうなのでちょっと期待しています。

さて、最近の報告ですが、学校生活は相も変わらず頑張ってます。本当に忙しいです。

宿題は多いし、しかもそれが毎日です。数学なんかはいいですけど、他の教科はすごく長い英文を読まないといけないものが多いのでホントにイライラします。家族が助けてくれるので、できる範囲で提出するようにはしています

でも、嬉しいことが一つ。日本でも一番苦手で、こっちでも大っ嫌いだった数学のテストでいいスコアが出せたことです。あくまでも、自分の中です。

また、英語の授業で日本ではたぶんしないようなことをしています。なんと、映画撮影です。でも、本物の撮影機具を使ったりするようなのではないです。4、5人の小さいチームで集まって専用の小っちゃいカメラで撮影します。ちなみに私のチームのストーリーはこうです。

お昼休み、みんなとご飯を食べていた時主人公の女の子がヘッドフォンで音楽(大音量)を聴いていたせいでチャイムを聞き逃してしまい大遅刻するお話です。「ありえへんやろ((笑)って思ったら、チームの子たちによるとたまにあることだそうです。

学校以外では、10月、ハロウィンでランタンを作ったことが印象に残っています。私はすごく不器用なので、何回包丁で指を切り落としそうになったことか・・・怖かったです。まあ楽しかったし、怪我もしなかったのでよかったです。

最近では以前に比べ、自分の意思を自分の言葉で伝えることの難しさをしみじみ感じています。うまく伝えられないのですがもっとこうすればよかったとか、すごく考えてしまいます。でも、もしかしたらこういう気持ちも留学することでしか味わえないものかもしれないので、これからはもっと努力してみようと思います。

それでは、皆さんも健康に気を付けて頑張ってください。では、また。 2011.11.16. 受信

## ベルギーで新発見、学校の違い

I2-1 大崎 恭平

ロータリークラブ交換留学プログラム  
留学先：College Notre-Dame de la Paix(ベルギー)  
留学期間：2011.8.20～2012.6.20

いかがお過ごしでしょうか、ベルギーの朝は、マイナス5℃などでガラスが凍っていたりします。それでは報告をしたいと思います。

この10月11月はとくに忙しい時期でもありました。また秋休みが1週間ほどあり、旅行へも行きました。

まずは勉強についてお話ししたいと思います。勉強面ではフランス語と英語に力をいれて日々勉強しています

内容は、英語では公正取引やエイミッシュなどを勉強しています。

日本の英語の授業と違うところは、語彙の難しさにあると思います。例えば公正取引などの勉強になってくると、専門の分野の英語なども出てくるためとても苦労しています。

また授業ではBBC(イギリスの放送局)の映像をみて自分の意見を述べるなどの授業もあり日本とはまた違った授業をうけられているのでとてもうれしく思っています。

フランス語は、だんだんと耳が慣れてきたので、6割は聞き取れるようにはなってきていますが、まだまだ、書くことに関しては苦労しています、というのもフランス語の場合、動詞の活用が主語によってすべてかわるためです。また完全に英語と文法が同じなわけでもないのですべてが一からのスタートなのです。



次に、秋休みについてお話ししたいと思います。2泊3日でパリへ、また2泊3日でロンドンへ、日帰り海へ行ってきました。

パリではシャンゼリゼ通りなど世界的に有名な場所を訪れることができました。世界的有名な絵画や彫刻なども見ることもできました。ロンドンではノートルダム、英国美術館などへも訪れました。

2つとも旅行感覚で行ったので、経済などについては、あまり触れる機会がありませんでしたが、さまざまな国籍の方たちがたくさんおられて、見るかぎり、EUの景気が悪そうにはとてもみえませんでした。

ロンドンへは海外の友達50人ほどで行きました。色々な国の人と話すことで、相手の立場にたち少しではありますが、日本を外から見れることを魅力に感じました。

ベルギーへ来て早くも3か月がたちました。これからたくさんの収穫をしていきたいと思います。具体的にはまだなにを習得したいとかはわかりません。しかし1か月たつごとに1つでもいいからものにしたいと思います。

2011.11.28 受信